

小川一成県議この一期の歩み



イキイキ茨城

暮らし豊かに、やさしいふれあいを

茨城県議会 初登壇から早や4年

緊張の中にも使命感あふれる



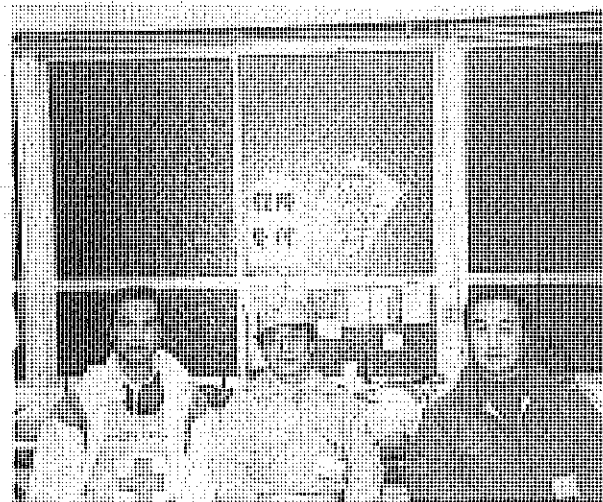
予算特別委員会での質問

守谷・取手の代表として県議会議員になって一期4年を勤めた小川一成県議。常に県民が暮らしやすい茨城、誰もが安心して生活できる茨城、そして茨城県民として誇りの持てる環境づくりに尽力しています。この間に、より具体的になった常磐新線と周辺地域の開発をはじめ、守谷・取手地区の住民にとってなによりうれしかった「水戸の運転免許試験場の受付時間延長」や「取手旅券(パスポート)窓口の開設」など。

県民一人一人の目線で政治を語れる議員のひとりとして、小川県議に寄せられる期待は大きいものです。ここで、この4年間をふり振り返り、茨城県民にとって最も大切なことを再確認したいと思います。私たちのふるさと茨城が、豊かで明るいふれあいに満ちた県になるように、これからも小川一成県議は私たちの声を県政により一層反映していくことでしよう。

〔平成七年 一年目〕

年明け早々に起きた阪神大震災の知らせに、いてもたってもいられた小川一成は早速現地に一人で駆けつけ、日赤病院でのお手伝いと兵庫県庁のすぐ近くの諏訪山小学校に避難している方々と寝起きをともにしてのボランティア活動に参加した。この経験をもとに第一回定例県議会の一般質問では、新人議員のトップを切ってわが県の震災対策等に関して、抜本的見直しを提案した。また、同じ一般質問にて、県南地区のバス乗降申請件数の増加に伴い、旅券窓口の設置を要望し、平成八年四月に取手市役所内に旅券窓口が開設された。住民ニーズに的確にこたえたもので、県南地区居住者に大変喜ばれている。



阪神大震災/日赤職員とボランティアのメンバー

〔平成八年 二年目〕

県議会予算特別委員会にて運転免許試験場の受付回数増加、及び受付時間の延長を要望し、その結果、改善が行われた。これにより、従来午前八時半〜九時の受付時間が午前九時半〜十時に変更になり、出張試験場についても取手警察署でも実施することになった。

受け付け1時間延長

出張試験場の増設も検討

県議会内外で積極的な活動をしてきた小川一成が定例県議会で二度目の一般質問に臨んだ。まず、非常利組織NPOについての実態と評価について質問した。長い間ボランティア活動に参加している小川一成ならではの質問が相次いだ。二十一世紀に向けて成熟した市民社会を目指す上で、行政活動、企業活動と並ぶ公益性の高いNPOの存在意識が飛躍的に高まり、社会に大きな役割が期待されている現在において、支援のあり方について、国会という公の場での質問は、わが国にとってその方向性を指

〔平成九年 三年目〕

県議会内外で積極的な活動をしてきた小川一成が定例県議会で二度目の一般質問に臨んだ。まず、非常利組織NPOについての実態と評価について質問した。長い間ボランティア活動に参加している小川一成ならではの質問が相次いだ。二十一世紀に向けて成熟した市民社会を目指す上で、行政活動、企業活動と並ぶ公益性の高いNPOの存在意識が飛躍的に高まり、社会に大きな役割が期待されている現在において、支援のあり方について、国会という公の場での質問は、わが国にとってその方向性を指

〔平成十年 四年目〕

県議期間今年で四年目を迎え、小川一成は益々その活動の場を広げている。本年三月の定例県議会一般質問において三度目の登壇をし、幅広い活動を思わせる質問を行った。まず事業決定後、一定期間を経過したにもかかわらず、未着工の事業や、期間が長期にわたり、この間の住民ニーズの変化や事業効果に疑問符の付く事業について、中止や見直しを含め再評価を行う「時のアセスメント」の導入を知らしめ、検

時のアセスメント再評価

「時のアセスメント再評価」は、事業決定後、一定期間を経過したにもかかわらず、未着工の事業や、期間が長期にわたり、この間の住民ニーズの変化や事業効果に疑問符の付く事業について、中止や見直しを含め再評価を行う「時のアセスメント」の導入を知らしめ、検

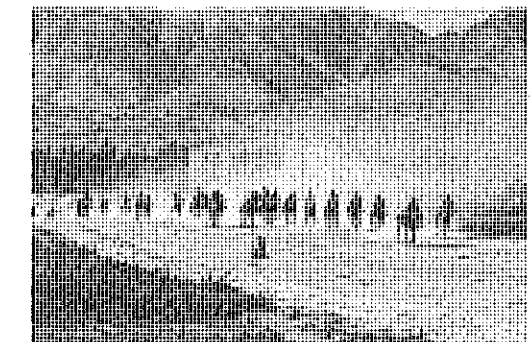
小川一成の 県議会での質問要旨

- 平成7年
 - 常磐新線に係る関係市町村への財政支援について
 - 震災対策について
 - アーカス構想について
 - 取手市への旅券(パスポート)窓口の設置について
- 平成8年
 - 原子力行政について
 - 大規模宅地開発と墓地の整備について
 - 運転免許試験場について
 - 公営競技について
- 平成9年
 - 行政とNPOとの在り方について
 - 常磐新線関連事業について
 - 県立医療大学の大学院設置について
 - 警察行政について
- 平成10年
 - 時のアセスメントについて
 - アーカス構想の推進について
 - 常磐新線について
 - 障害児教育について
 - 学校教育について
 - 新大根利根有科道路の早期無料化について

ちょっと拝見 小川一成のプライベートタイム



スイスアルプスメンヒ山頂にて(4,099m H9.8)



60km騎馬マラソン(H7.8)キルギスタン共和国にて

「豊かで美しい茨城」を目指す、6つの政策指針!

- 都市の基盤づくり
- 国際交流の活性化
- 自然との共生
- 教育と文化の育成
- 社会福祉の充実
- 活力ある地域づくり



小川一成プロフィール

- 昭和22年9月20日生まれ
- 家族 父・母・妻・長女・長男・二男
- 学歴
 - 守谷町高野小学校卒業
 - 守谷中学校卒業
 - 県立水海道一高卒業
 - 明治学院大学卒業
 - 大学在学中に1年間、欧州、アフリカ、中近東など諸外国を一人旅
- 経歴
 - 昭和47年タクシーン会社設立
 - 高野小学校PTA会長
 - 愛宕中学校PTA会長
 - 水海道一高PTA会長
 - 守谷町商工会青年部長

- 守谷町議会議員2期
- 茨城県議会総務企画委員会委員
- 茨城県議会農林水産委員会委員
- 茨城県議会環境商工委員会委員
- 日本青年会議所関東地区褒賞委員長
- 茨城県議会議員1期
- 茨城県議会土木委員会副委員長
- 守谷町国際交流協会会長
- 茨城県青年海外協力隊を育てる会副会長
- ボーイスカウト守谷第一団団委員長
- スポーツ少年団サッカー部会顧問

ISSEI OGAWA

草の根運動のボランティア募集
ぜひあなたの手と知恵をお貸しください
連絡先 ☎0297-48-1064

